

# 今も残る優生思想をなくすには ～歴史を繰り返さないために～

～ 子どもが欲しかった！私のきもち ～

日時：2026年5月21日（木）

朝倉 典子（仮名）

## 主人との出会い、そして結婚

- ▶ 卒業後、ろうあ協会の定期総会で再会し、主人から積極的なアプローチにより結婚。
- ▶ 結婚したのは昭和42年10月24日
- ▶ その時の私は子どもが大好きで結婚したら2人の子どもを産んで育てたいと夢を持っていました。



## 主人が断種手術を受けた経緯

- 結婚した後、いくら頑張ってもなかなか子どもができない。不思議でたまりませんでした。
- 昭和43年の夏ごろ、主人が下腹部を搔いていました。
- どうしたの？と尋ねたところ、断種手術を受けさせられたことを告白されて本当にショックでした。
- 断種手術を受けたのは、私たちが結婚する1週間前に主人が職場の社長に呼び出されて一緒に近くの病院にて、医師に言われるがまま断種手術を受けさせられたのです。

## 訴訟、そして勝訴判決

- 2018年1月に宮城県の知的障害を持つ女性が提訴したのをきっかけに、主人も提訴する決意になり、2019年12月24日に提訴しました。



2019年12月24日 提訴



2024年5月30日 勝訴判決！

約5年近くかかりました。



旧優生保護法国家賠償請求訴訟原告団から要望書を受け取り頭を下げる岸田文雄首相（右端）＝首相官邸で2024年7月17日午後3時、平田明浩撮影

7月3日画期的な勝訴判決

7月17日首相謝罪



主人は2021年5月17日他界

主人の朝倉彰・私典子（仮名）

## 訴訟を終えた後、現在

- ▶ 勝訴できたことをあの世にいる主人に伝えました。
- ▶ 私は高齢で本当にきついので、裁判をやめようと思ったことが何度かありましたが、沢山のの方々から応援、また全国の仲間たちが頑張っていて闘っているのので、頑張ることができました。今まで色々とお応援してくださってありがとうございました。
- ▶ まだ黙っている被害者がいるので、支援していきます。皆さんもぜひとも補償金の申請に繋がられるよう啓発をお願いします。そして差別のない、共生社会になれることを願っています。